

◆◆中国経済経営学会（第9回）情勢分析研究会◆◆

「中国の国産半導体―日系半導体との関わりから振り返る」

長らく重要技術を外国に頼りながら産業発展をしてきた中国ですが、近年、様々な分野で先端技術の国産化を成し遂げ、さらには最先端技術で世界をリードする分野も珍しくなくなりました。安全保障に直結する戦略的物資である半導体については、政府は「国産半導体」の技術的自立を高度に重視し、重点支援を続けています。米国を中心に製造設備を含む禁輸措置がとられる国際環境の中で、その実力がどの程度まで高まっているのかを含め、動向が注目されています。

今回の情勢分析研究会では、1990年代から中国ビジネスの第一線で半導体需要の急拡大に遭遇し、供給競争のただ中で活躍してきた鈴木一央氏をお招きします。同氏が約30年にわたって従事した東芝（現東芝デバイス&ストレージ株式会社）の中国半導体ビジネスと、そこから見えてきた中国の「国産半導体」の成長の軌跡を振り返り、見通し、課題を語っていただきます。

日時：2024年11月2日（土）10：00～11:30

報告：「中国の国産半導体―日系半導体との関わりから振り返る」

報告者：鈴木 一央氏

株式会社テラプローブ 営業部マネージャー

元：東芝デバイス&ストレージ株式会社

半導体営業推進センター アナログ&車載 IC 営業推進部グループ長

東芝電子（上海）有限公司副総経理・東芝電子亞洲有限公司成都事務所

所所長、青島事務所所長を歴任

参加方式：Zoom

事前登録：参加申し込みはこちらから→<https://forms.gle/CWwAijvAstLWNp89A>

（〆切り：2024年10月30日）

*開催日前日に Zoom のミーティング ID をメールでお送りします。お申し込みをしたにもかかわらずミーティング ID が届かない場合は、以下まで連絡をお願いします。

連絡先：mohara@econ.ryukoku.ac.jp

中国経済経営学会 情勢分析研究担当

大原盛樹（龍谷大学）